

被災地の福祉施設 ジャムに笑顔

富岡の支援施設、11カ所に発送



障がい者支援施設に届いたジャムを手に喜ぶ人たち＝石川県七尾市、上州水土舎提供

能登半島地震の被災地にある福祉施設を支援するため、富岡市の障がい者就労支援施設「上州水土舎」が、施設で製造したジャムを石川県と富岡市の11カ所に発送した。届いた施設からは、感謝のメッセージが届いている。

水土舎は富山県氷見市の障がい者支援施設と交流があり、地震発生を受けて被災地にある福祉施設にそれぞれ、イチジクとリンゴの

ジャム合わせて約50個を義援物資として送ることを決めた。20カ所を予定していたが、輸送ルートが復旧しない地域もあり、これまでに届けられたのは11カ所にとどまる。

石川県七尾市の施設からは、「みんなクリスマスプレゼントをもらった時のように大喜びしています。余震や断水が続いてストレスを抱える中、素敵なプレゼントが届き、心の励みにな

りました」とメッセージが届いた。水土舎の金谷透理事長は「これから復興に向けて大変な時間と労力を費やさなければならぬ。一日でも早い日常の回復と、ライフラインの復旧を願います」と話している。

(角津栄二)